

# つがる市国民健康保険保健事業計画 (第2期データヘルス計画)

## 中間評価報告書

令和3年3月

つがる市国民健康保険課

# 目 次

第1章 計画の基本事項	1
1 計画の趣旨	1
2 計画における目的・目標	1
第2章 第2期データヘルス計画の中間評価	2
1 中間評価の趣旨	2
2 中間評価における4つの視点	2
第3章 個別保健事業の中間評価と見直し	3
1 生活習慣病予防に関する事業	3
(1) 特定健診受診率向上事業	3
(2) 生活習慣病予防重症化予防事業	6
(3) 早期介入保健指導事業	9
2 医療費適正化に係る事業	12
第4章 第2期データヘルス計画の目標の達成状況	14
第5章 第2期データヘルス計画の実施状況（全体）評価	16
資 料	17
1 つがる市国民健康保険被保険者数の推移	18
2 医療費データの分析	18
3 健診データの分析	24
4 介護（レセプト）の分析	25
5 国・県・同規模平均と比較したつがる市の位置	26

## 第1章 計画の基本的事項

### 1. 計画の趣旨

つがる市国民健康保険の保険者であるつがる市は、被保険者の健康寿命の延伸と医療費・介護費の抑制のため、平成28年度から29年度を実施期間とする「つがる市国民健康保険保健事業計画（以下「データヘルス計画」という。）に引き続き、平成30年度から令和5年度までの6年間を実施期間とする「第2期データヘルス計画」を策定し、優先的に解決すべき健康課題を把握し、その課題整理に基づく被保険者の健康保持増進に向けた保健事業を実施してきました。

### 2. 計画における目的・目標

#### (1) 目的

被保険者が、自分の健康状態を把握し、必要な生活習慣の改善や基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症等）の治療など、適切な保健行動をとることで、生活習慣病の発症予防と重症化予防ができる。



健康寿命の延伸、医療費・介護費の抑制

#### (2) 目標

##### <短期的目標（毎年度の目標）>

- ① 特定健康診査受診率の向上
- ② 健診結果から、メタボの改善に取り組む人の増加
- ③ 適切に医療機関を受診する人の増加

##### <中長期的目標（最終年度までに達成を目指す目標）>

- ① 特定健診における血圧異常者の割合の減少
- ② 特定健診における糖尿病検査（HbA1c）異常者の割合の減少
- ③ 糖尿病性腎症による新規人工透析患者の減少

## 第2章 第2期データヘルス計画の中間評価

### 1. 中間評価の趣旨

令和2年度は、第2期データヘルス計画の中間評価の年度となっています。

データヘルス計画の中間評価の目的は、立案した計画軌道に乗っているかを確認し、計画が滞っている場合は事業効果を高めるための改善策を検討し、目標達成に向けての方向性を見出すことにあります。

中間評価では、データヘルス計画を構成する個別保健事業について、平成30年度から令和元年度までの事業の実績等を振り返り、目標の達成状況・指標の在り方について、データ分析等をもとに整理して評価を行い、令和3年度から5年度までの目標の見直し等を行います。

### 2. 中間評価における4つの視点

中間評価にあたっては、4つの視点に基づき評価を実施します。

(1) ストラクチャー (保健事業実施のための体制)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業の運営状況を定期的に管理できる体制整備をしているか (庁内連携、予算等を含む)</li><li>・ 保健事業の実施のための専門職の配置 (業者委託を含む)</li><li>・ KDB システム活用環境の整備</li></ul>
(2) プロセス (保健事業の実施過程)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 必要なデータを収集し、データに基づいて現状分析したか</li><li>・ スケジュールどおり実施できているか</li><li>・ 保健事業の方法等は適切か</li></ul>
(3) アウトプット (保健事業の実施過程)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画した保健事業は実施できているか</li><li>・ 保健事業の実施結果はどうか</li></ul>
(4) アウトカム (成果)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設定した目標に達することはできたか</li></ul>

### 第3章 個別保健事業の中間評価と見直し

※評価の中で、「指標判定」については、A～Dの4つの区分により判定します。

判定区分 A：達成できている B：達成できていない・改善が必要  
C：事業継続が困難 D：評価困難

#### 1. 生活習慣病予防に関する事業

##### (1) 特定健診受診率向上事業

目標値

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率	45%	48%	51%	54%	57%	60%

#### ① 特定健診受診率向上

対象	40歳以上の被保険者					
事業内容	<p>&lt;普及啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健協力員による市健診案内配布と受診勧奨（3～4月）</li> <li>市広報及び国保広報紙（国保つがる）に健診記事掲載</li> <li>保険証送付時に受診勧奨文書同封（7月）</li> <li>他保健事業時のPRの実施（随時）</li> </ul> <p>&lt;未受診者勧奨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続受診勧奨通知 →②</li> <li>申込未受診者受診勧奨通知 →③</li> </ul> <p>&lt;関係機関との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別健診委託医療機関の拡充</li> <li>みなし健診の実施 →④</li> <li>事業者健診の健診結果提供依頼 →⑤</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元気健康ポイント事業の実施 →⑥</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 案内文書の内容検討等、健診に関する打合せを随時実施している。 集団健診：青森県総合健診センター 個別健診：西北五医師会、つがる西北五広域連合医療機関 ※「第3期つがる市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に準じて実施					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R元	指標判定
・特定健診受診率（法定報告値）	60%	41.1%	42.5%	45.1%	46.2%	B
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の受診率は年々上昇している。</li> <li>40歳代、50歳代の若年層の受診率が低い。</li> </ul>					
見直しと改善案	若年者の健診受診率向上のため、健診の申込方法の追加として、申込ハガキや電話以外にパソコンやスマホによる健診予約システムの導入（Web申込）を検討していく。					

② 特定健診未受診者対策（継続受診勧奨通知）

対象	H28：40～69歳の被保険者で、前年度の未受診者 H29：42～69歳の被保険者で、過去2年連続未受診者 H30：過去3年に1回以上受診しているが、当該年度に申込がない者 R元：同上					
事業内容	・年内の集団健診日や個別健診を掲載した受診勧奨ハガキを送付した。					
：	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※対象者へ文書作成・通知は業者委託					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R元	指標判定
・受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	A
・受診勧奨者の受診率	20%	4.2%	1.9%	30.9%	24.3%	A
※受診勧奨通知件数		3,296件	2,854件	514件	581件	
効果と課題	通知効果の期待できる過去に受診歴がある方を対象にしたことで、受診勧奨者の受診率が上昇した。					
見直しと改善案	勧奨時期や文書内容など、随時見直しを行い、勧奨効果を向上していく。					

③ 特定健診未受診者対策（申込未受診者受診勧奨）

対象	40歳以上の被保険者で、特定健診の申込をしているが、申込日に受診していない者					
事業内容	年内の集団健診日や個別健診を掲載した受診勧奨ハガキを送付する。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※対象者への文書作成は業者委託					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R元	指標判定
・受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	A
・受診勧奨者の受診率	20%	—	—	20.2%	40.1%	A
※受診勧奨通知件数（延）		345件	454件	1,009件	888件	
効果と課題	ポイントを絞った通知文書の作成により、受診勧奨者の受診申込みが増加した。					
見直しと改善案	勧奨時期や文書内容など、随時見直しを行い、勧奨効果を向上していく。					

④ みなし健診

対象	特定健診未受診者で、みなし健診協力医療機関において治療している者					
事業内容	本人の同意のもと、診療における検査データの提供を受けることで特定健診受診者とみなす。					
実施体制等	国民健康保険課 ※対象者通知は業者委託 西北五医師会・つがる西北五広域連合協力医療機関					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R元	指標判定
・みなし健診協力医療機関	未設定	—	—	26	25	D
・みなし健診実施者数	未設定			82人	14人	
効果と課題	・みなし健診を実施することで、受診者は自分の検査結果を健診結果として受け取ることができる。また、基本的項目に満たない検査状況であれば、追加で検査を受けることができるため、自分の健康状態の把握し、生活習慣改善への意識付けとなっている。					

	・令和元年度のみなし健診受診者は少なかったものの、令和2年度は増加しており、健診受診率の向上に寄与している。
見直しと改善案	・今後も継続して、効果的な勧奨通知で事業を定着させていく。

#### ⑤ 事業者健診結果提供依頼

対 象	40歳以上の被保険者に事業者健診を実施している事業者					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の同意のもと、事業者健診の結果を提供いただき、特定健診受診者とみなす。</li> <li>・提供者には保健指導用パンフレットを配布した。</li> <li>・市内事業所に依頼、市広報や国保つがるに記事を掲載した。</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・健診結果提供事業所数 ・健診結果提供件数	未設定	3社 25件	3社 25件	1社 3件	1社 3件	D
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険に加入したことにより、結果提供事業所や提供件数が減少した。</li> <li>・事業者健診受診を元気健康ポイントの要件に加えたことで、健診結果を持参する受診者もいた。</li> </ul>					
見直しと改善案	市の特定健診未受診理由が「職場で受ける」としている者に直接提供依頼するなど、提供依頼方法を検討していく。					

#### ⑥ 元気・健康ポイント事業

対 象	30歳以上の市民					
事業内容	特定健診・健康診査やがん検診の受診や市指定保健事業への参加等によりポイントを付与し、記念品を交付した。 ※平成30年度から、記念品をつがる市商工会共通商品券商品券にした。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 ※集団健診会場におけるポイント交換（商品券交付）は業者委託 また、12～1月は各出張所に商品券交換依頼 つがる市商工会（つがる市商工会共通商品券商品券購入）					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・事業参加者数	未設定	—	880人	3,122人	4,244人	D
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から、国保窓口や各出張所だけでなく健診会場においても商品券交付を実施したことにより事業参加者が増加した。</li> <li>・参加者アンケートでは、9割以上が「来年度も健診を受けたい」と回答しており、市民の健診受診行動（継続受診）に効果があると思われる。</li> </ul>					
見直しと改善案	保健指導事業参加による検査値改善や生活習慣改善を評価するなど個人の健康づくりの取組みに対するインセンティブ提供も加えていく。					

(2) 生活習慣病重症化予防事業

① 特定保健指導事業

目標値

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施率	50%	52%	54%	56%	58%	60%

対 象	40 歳以上の被保険者で、特定健診の結果、特定保健指導の判定基準が「積極的支援」「動機づけ支援」に該当する者					
事業内容	健診受診後 3～4 週間以内に該当者に利用勧奨通知を行い、申込者に対して個別に保健師または栄養士による初回面接を実施した。 さらに、6 か月後（令和元年度は 4 か月後）に、電話や手紙、面接等で生活改善支援や取組みの評価を実施した。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 ※積極的支援は、青森県総合健診センターに委託 ※西北五医師会（特定保健指導実施医療機関委託）					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R 元	指標判定
・ 特定保健指導実施率 ・ 特定保健指導対象者減少率（法定報告値）	60% 25%	55.1% 22.5%	56.5% 24.8%	37.6% 27.9%	42.4% 22.3%	B B
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度、健診結果送付後に特定保健指導の案内文書を送付したため実施率が低下した。令和元年度に初回面接時に健診結果返却する方法に再度改めたことで、実施率が上昇したが目標には達していない。</li> <li>保健指導時の健診結果返却、勧奨通知文書の工夫やインセンティブ導入などにより、初回面接実施率の増につながっているが、最終評価シートの返却率が低いため実施率が目標に達していない。</li> <li>積極的支援は、面接回数が多いためか、実施率が低い。</li> </ul>					
見直しと改善案	特定保健指導実施者について、レセプト情報や特定健診情報を活用して、保健指導後の医療状況などの調査を行い、特定保健指導の評価を行う。					

② 特定健診要医療判定者受診勧奨事業

対 象	特定健診の結果、要医療判定となった者 ※令和元年度から、重点対象者として、高血圧Ⅱ度以上、脂質異常、糖代謝異常、尿蛋白 2+以上または eGFR45 未満、心電図異常の者					
事業内容	・ 特定健診要医療者への医療機関受診勧奨。 特定健診結果に医療機関宛の精検結果返却ハガキを同封し、返却のない場合（概ね 3 ヶ月後）は、電話や訪問等による受診勧奨を実施した。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 医療機関（精密検査及び結果ハガキの返却）					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R 元	指標判定
・ 受診勧奨実施率 ・ 受診勧奨後の医療機関受診率（精密検査受診率）	未設定 80%	100% 47.4%	100% 49.6%	100% 47.6%	100% 53.3%	B
効果と課題	精密検査受診率が低い。					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症化予防のため、精密検査の重要性についての周知を強化する。</li> <li>対象者の経年管理台帳の整備をしていく。</li> </ul>					



## ②特定健診異常値放置者受診勧奨

対象	前年度の特定健診の結果、医療機関への受診勧奨判定値（高血圧・脂質異常・糖尿病）を超えているが医療機関への受診が確認できない者（前年度健診結果とレセプト分析から抽出）					
事業内容	特定健診結果をもとに、検査数値のレーダーチャート表示や将来の発症リスクを予測した数値を記載した通知書を送付し、医療機関への受診勧奨を実施した。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※レセプト分析による対象者抽出と受診勧奨通知は業者委託					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・受診勧奨通知率 ・受診勧奨後の医療機関受診率	100% 20%	— —	— —	— —	100% 7.8%	A B
効果と課題	前年度受診結果をもとに対象者を抽出しているためか、通知後の医療機関受診率が低い。					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の経年管理台帳を整備していく。</li> <li>精密検査の重要性の周知と精密検査受診勧奨を強化していく。</li> </ul>					

## ③糖尿病改善教室

対象	特定健診の結果、糖尿病の有所見者（HbA1c5.6以上の者）					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理栄養士や健康運動指導士等による、食習慣改善や運動習慣定着のための講話や実技指導を実施した。（1コース4日、定員30人）</li> <li>※平成元年度は定員を50人に設定</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※対象者通知・教室運営（講師派遣等）は業者委託					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・参加者の検査値（HbA1c）改善率（次年度健診結果）	60%	64.3%	39.3%	80%	50%	B
・参加者の生活習慣改善率（アンケート結果）	80%	100%	100%	100%	100%	A
※参加者数		54人	72人	50人	27人	
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度までは、申込者が定員を超えたため、初日の基礎講座を申込者全員に受講していただいた。</li> <li>受講者からは、糖尿病に関して、食事や運動を含めた総合的な指導が受けられたと好評であった。</li> <li>最終アンケートでは運動や食事について全員に行動変容がみられている。</li> </ul>					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容等を随時改善し、継続して実施していく。</li> <li>参加者の経年管理（特定健診データ等）をしていく。</li> </ul>					

#### ④糖尿病性腎症重症化予防事業

対 象	40歳以上の被保険者で、2型糖尿病治療中だが腎機能の低下がみられる人工透析導入前段階の者（概ね、腎症2期・3期の者）					
事業内容	本人同意のもと、医療機関から情報提供いただき、保健師による訪問保健指導を実施した。（指導期間10～3月） 平成30年度に「つがる市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師に参加者の生活背景等の情報を得る 西北五医師会 つがる市内医療機関に対象者の参加確認と情報提供依頼 ※保健指導は業者委託 ※平成30年度、事業計画について、青森県国民健康保険団体連合会が設置する「保健事業支援・評価委員会」の支援を受けた。					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・検査値（HbA1c）改善率	50%	—	—	33.3%	57.1%	A
・生活習慣改善率	80%	—	—	66.7%	100%	A
※指導実施者数	—	—	—	3人	7人	
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導は短期間（6ヶ月間）のため、検査値の改善までは難しいが、生活習慣改善に成果が現れており、重症化予防に繋がっている。</li> <li>・対象者からは「個別に具体的な食事指導等が受けられた」と好評であった。</li> <li>・人工透析治療移行予防のため、指導終了後も医療機関と連携したフォローアップをしていく必要がある。</li> </ul>					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導終了者の経年管理（医療機関における検査値確認や特定健診結果データ管理）をしていく。</li> <li>・指導終了者に、市保健師から電話等を行い、近況の確認等のフォローアップをしていく。</li> </ul>					

#### ⑤生活習慣病治療中断者受診勧奨通知

対 象	40歳以上の被保険者で、生活習慣病（糖尿病・高血圧症・脂質異常症）の治療をしていたが、一定期間医療機関への受診が確認できず、定期受診を中断している者						
事業内容	生活習慣病の予防や治療の必要性を記載した通知書を送付し、医療機関への受診勧奨を実施した。						
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※レセプト分析による対象者抽出と受診勧奨通知は業者委託						
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定	事業判定
・通知者の医療機関受診率	80%	—	—	—	66.7%	B	B
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト分析（業者委託）により、対象者抽出と受診勧奨通知後の効果を確認できた。</li> <li>・治療中断者の中には、特定健診要医療者でありながら未受診の方もいて重症化が懸念される。</li> <li>・受診勧奨通知のみのため、治療を中断した理由が把握できない。</li> </ul>						
見直しと改善案	治療中断者には、訪問や電話等で未受診理由等を確認したうえで、継続した受診勧奨をしていく。						

### 3) 早期介入保健指導事業

#### ①フレッシュ健診

対 象	30～39 歳の被保険者					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の検査項目とオプション検査を追加した集団健診を実施。(平成 29 年度からは、限定日の他に 40 歳以上の集団健診日にも組み入れて実施)</li> <li>・健診後は、結果説明会を健診会場ごとに開催し、保健師による個別保健指導を実施(夕方実施や休日の開催日も設定)。</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 健診結果説明会の保健指導や医療機関受診勧奨 ※対象者通知は業者委託 ※健診実施は青森県総合健診センターに委託					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R 元	指標判定
・フレッシュ健診受診率 ・翌年度 40 歳到達者の特定健診受診率	30% 90%	19.2% 68.1%	16.9% 88.9%	22.5% 88.2%	24.0% —	B B
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診率は年々上昇している。</li> <li>・健診受診行動を習慣化させ、特定健診受診行動に結び付ける効果を確認できた。</li> <li>・健診の有所見者が 9 割以上と多く、若い世代の生活習慣病の早期発見につながっている。</li> <li>・要医療判定者の医療機関受診率が低い。 H29 (33.9%) H30 (35.4%) R 元 (20.8%)</li> </ul>					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要医療判定者の経年管理台帳を整備していく。</li> <li>・精密検査の重要性の周知と精密検査受診勧奨を強化していく。</li> </ul>					

#### ②脳ドック検査費助成事業

対 象	40 歳以上の被保険者					
事業内容	市指定医療機関における脳ドック検査費の助成。(助成金額 15,000 円)					
実施体制等	国民健康保険課 医療機関(検査委託)					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R 元	指標判定
未設定 ※助成者数	未設定	—	—	—	628 人	D
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の有所見率は 64%である。異常の早期発見につながっている。</li> <li>・有所見者(要治療者・要精検者のフォローアップ(医療機関受診確認や受診勧奨指導等)を徹底していく必要がある。</li> </ul>					
見直しと改善案	受診者増に向け、関係部署や関係機関と連携した周知方法を検討していく。					

③禁煙外来治療費助成事業

対 象	20 歳以上の被保険者					
事業内容	市指定医療機関における禁煙外来治療を修了した者に治療費を助成。 (助成金額 20,000 円) 国保つがるに事業周知記事を掲載。					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 周知協力や問合わせ対応 市内禁煙外来実施医療機関（委託）					
評価指標	目標値	ベースラ イン H28	H29	H30	R 元	指標判定
未設定 ※治療終了者数	未設定	—	—	—	1 人	D
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療終了者が少ない。</li> <li>・再喫煙防止のため、治療終了者への継続した支援が必要である</li> </ul>					
見直しと改善案	利用者増に向け、関係部署や関係機関と連携した周知方法を検討していく。					

④ がん検診受診向上事業

対 象	<p>がん検診対象者          胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診：40歳以上          子宮頸がん検診：20歳以上の女性（前年度未受診者）          乳がん検診：40歳以上の女性（前年度未受診者）          前立腺がん検診：50歳以上の男性</p>					
事業内容	<p>※がん検診の主管課は健康推進課のため、ここでは国民健康保険課で実施した内容を掲載。          &lt;がん検診受診勧奨&gt;          ・特定健診申込時や保健指導事業時にごがん検診受診勧奨          &lt;がん検診精密検査者への受診勧奨&gt;          ・特定保健指導時に医療機関受診勧奨          &lt;その他&gt;          ・令和元年度から、集団健診の国保被保険者限定日に特定健診とがん検診を同日に実施（子宮頸がん検診・乳がん検診を除く）          ・がん検診受診を元気健康ポイントのポイント加算項目としている</p>					
実施体制等	<p>健康推進課、国民健康保険課          案内文書の内容検討等、健診に関する打合せを随時実施している。          集団健診：青森県総合健診センターに委託          個別健診：西北五医師会・つがる西北五広域連合・弘前市医師会の医療機関に委託</p>					
評価指標	目標値	ベースライン H28	H29	H30	R元	指標判定
<p>がん検診受診率          ・胃がん検診          ・大腸がん検診          ・肺がん検診          ・子宮頸がん検診          ・乳がん検診          （地域保健・増進事業報告）</p>	50%	不明	30.0%	28.5%		B
効果と課題	<p>・各健診とも県平均を上回り上位に位置しているが、目標値には達していない。          ・国保被保険者限定日の受診者数が増加し、特定健診と共にごがん検診を同時に受診する方が多かった。</p>					
見直しと改善案	<p>啓発方法など、健康推進課と連携して効果的な対策を検討していく。</p>					

## 2. 医療費適正化に係る事業

### ①重複・頻回受診者指導事業

対 象	40歳以上の被保険者で、レセプト分析から抽出した生活習慣病による重複・頻回受診者 ・重複受診：同系の疾病で3医療機関以上に受診している場合 ・頻回受診：同一医療機関に、月8回以上受診している場合					
事業内容	対象者に訪問健康相談の案内文書を送付し、保健師が訪問と電話で指導を実施する。（受療状況確認と生活習慣改善について保健指導）					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※レセプト分析からの対象者抽出・通知・訪問・電話は業者委託（対象者抽出・通知は、H29まで青森県国民健康保険連合会に委託）					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・重複・頻回受診の改善率 ※指導実施人数	20% 未設定	未把握 21人	未把握 19人	75% 12人	100% 17人	A
効果と課題	・主治医からの専門医の紹介や検査のために他の医療機関を受診するために一時的に重複受診となっているケースが多い。 ・治療状況の確認や重症化予防のための保健指導が実施できた。 ・レセプト分析（業者委託）により、保健指導後の効果を確認できた。					
見直しと改善案	・指導実施者以外の対象者及び被保険者に対して、広く受診行動の適正化を周知する。					

### ②重複・多剤服薬者指導事業

対 象	40歳以上の被保険者で、レセプト分析から抽出した生活習慣病による多剤服薬者 ・多剤服薬：同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、投与日数が60日以上を超えている場合					
事業内容	対象者に訪問健康相談の案内文書を送付し、保健師が訪問と電話で指導を実施する。（受療・服薬状況確認と生活習慣改善について保健指導）					
実施体制等	国民健康保険課、健康推進課 地区担当保健師による対象者名簿チェックや問合わせ対応 ※レセプト分析による対象者抽出・通知・訪問・電話は業者委託（対象者抽出・通知は、H29まで青森県国民健康保険連合会に委託）					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・重複・多剤服薬の改善率 ※指導実施人数	20% 未設定	— —	100% 36人	100% 35人	100% 10人	A
効果と課題	・一時的な重複受診により重複処方になっているが、お薬手帳が活用されており、実際に重複服薬しているケースはいなかった。薬の飲み残しや飲み忘れ防止、かかりつけ薬局の活用について等の服薬全般の指導が実施できた。 ・レセプト分析（業者委託）により、保健指導後の効果を確認できた。					
見直しと改善案	・指導実施者以外の対象者及び被保険者に対して、広く服薬行動の適正化を周知する。					

### ③後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用促進事業

対 象	全被保険者で、慢性疾患等用剤が長期に投与されている者					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト情報に基づき、ジェネリック医薬品を使用した場合の具体的な自己負担額等を掲載した差額通知使用促進文書を送付した。</li> <li>・ジェネリック医薬品使用促進の啓発記事を、市広報や国保つがるに掲載した。</li> <li>・市独自のジェネリック医薬品希望シールを作成し、保険証送付時に同封。また、新規加入手続き時に配布した。</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課 ※レセプト分析による対象者抽出及び文書作成・通知は業者委託（H29 までは青森県国民健康保険連合会に委託）					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
・使用割合（数量シェア） ※通知回数	80%	67.1% 年2回	69.4% 年2回	74.1% 年6回	77.3% 年5回	B
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用割合は年々上昇しているが、県平均（R元年度 79.0%）より低く、国の目標値（80%以上）に達していない。</li> <li>・医療機関により使用率に差がみられる。</li> <li>・一定程度、先発医薬品を希望する人がいる。</li> </ul>					
見直しと改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析結果を医療機関に提示して協力を依頼していく。</li> <li>・ジェネリック医薬品の安全性についても広報等で周知していく。</li> </ul>					

### ④医療費通知事業

対 象	全受診世帯（被保険者世帯）					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療を受けた被保険者に受診医療機関・窓口支払金額・市国保負担分等を記載した医療費通知書を世帯ごとに送付。</li> <li>・平成 30 年度からは、確定申告用自己負担相当額も掲載。</li> </ul>					
実施体制等	国民健康保険課 ※レセプト分析による対象者抽出及び文書作成・通知は業者委託（平成 29 年度までは青森県国民健康保険連合会に委託）					
評価指標	目標値	ベースラインH28	H29	H30	R元	指標判定
未設定 ※通知回数	未設定	— 年6回	— 年6回	— 年6回	— 年3回	D
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者からの申し出により、医療機関からの誤った請求等が発見された事例など、被保険者の医療費に対する関心が高まっている。</li> </ul>					
見直しと改善案	事業内容は継続して実施していく。					

#### 第4章 第2期データヘルス計画の目標の達成状況

##### <短期目標>

目標	指標	初期値 (H27年度)	中間評価値 (R元年度)	目標値 (R5年度)
① 特定健診受診率の向上	特定健診受診率	40.3% (法定報告)	46.2% (法定報)	60.0%
② 健診結果から、メタボの改善に取り組む人の増加	特定保健指導実施率	56.2% (法定報告)	42.4% (法定報告)	60.0%
③ 適切に医療機関を受診する人の増加	受診勧奨者の医療機関受診率	48.0% (KDB)	50.5% (KDB)	60.0%

##### <中長期目標>

目標	指標	初期値 (H27年度)	中間評価値 (R元年度)	目標値 (R5年度)
① 血圧異常者の割合の減少	特定健診における血圧異常者の割合 ※収縮期 130以上 拡張期 85以上	男性 48.0% 女性 36.2% (市システム)	男性 55.7% 女性 46.6% (KDB)	男性 38.0% 女性 26.2% ※10%減少
② 糖尿病検査異常者の割合の減少	特定健診における糖尿病検査(HbA1c)異常者の割合 ※HbA1c 6.5以上	男性 8.8% 女性 4.7% (市システム)	男性 8.4% 女性 4.1% (KDB)	男性 7.9% 女性 4.2% ※10%減少
③ 糖尿病性腎症による人工透析に移行する人の減少	糖尿病性腎症による人工透析新規患者数(国保加入者)	4人 (市集計)	2人 (市集計)	0人

※③は、計画策定時、初期値の抽出に誤りがあり、市集計値による評価に変更した。



※中長期目標の指標について

① 血圧異常者の割合について

特定健診における血圧異常者の割合が増加していますが、血圧Ⅱ度以上（収縮期 160 以上、拡張期 100 以上）の者の割合は、令和元年度に減少しています。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
Ⅱ度高血圧者数 （受診者に占める割合）	90 人 (2.6%)	119 人 (3.5%)	87 人 (2.6%)
Ⅲ度高血圧者数 （受診者に占める割合）	12 人 (0.4%)	12 人 (0.4%)	17 人 (0.5%)
計 （受診者に占める割合）	102 人 (3.0%)	131 人 (3.9%)	104 人 (3.1%)
再計 高血圧未治療者 （Ⅱ度以上に占める割合）	47 人 (46.1%)	55 人 (42.0%)	51 人 (49.0%)

② 糖尿病検査異常値の割合について

特定健診における糖尿病検査異常者（HbA1c6.5 以上）の割合は、令和元年度に減少しています。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
HbA1c6.5 以上者数 （受診者に占める割合）	176 人 (5.2%)	245 人 (7.3%)	189 人 (5.5%)
再計 糖尿病未治療者 （6.5 以上に占める割合）	11 人 (6.3%)	22 人 (9.0%)	14 人 (7.4%)

③ 糖尿病性腎症による人工透析に移行する人について

糖尿病性腎症による人工透析に移行する者（国保被保険者）は毎年度新規に 1～2 人います。

※糖尿病性腎症による人工透析新規患者数（市集計）（人）

	人工透析新規	うち国保新規	糖尿病性新規	うち国保新規
平成 27 年度	17	4	6	4
平成 28 年度	14	6	6	1
平成 29 年度	7	1	0	0
平成 30 年度	9	2	1	1
令和元年度	20	4	4	2

第5章 第2期データヘルス計画の実施状況（全体）評価

評価視点	評価指標	現状分析	今後の方向性
ストラクチャー （保健事業実施のための体制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の運営状況を定期的に管理できる体制整備をしているか</li> <li>（庁内連携、予算等を含む）</li> <li>・保健事業の実施のための専門職の配置（業者委託を含む）</li> <li>・KDB システム活用環境の整備</li> </ul>	<p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診等国保保健事業の主管課である国民健康保険課と市民の健康づくり事業担当課の健康推進課の保健師・栄養士・職員が、計画段階から目的や課題の共有を図りながら事業の実施に努め、随時、実施状況の報告を実施して事業評価をしています。</li> </ul> <p>【専門職の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業により、保健指導のための保健師・管理栄養士・健康運動指導士の配置を業者に委託しています。</li> </ul> <p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西北五医師会やつがる市国民健康保険運営協議会において、事業計画や事業実施報告をしてご意見やご助言をいただいています。</li> <li>・青森県国民健康保険団体連合会においては、KDB システム研修や「保健事業支援・評価委員会」等の指導・助言を受けながら事業を進めています。</li> <li>・平成30年度からは、青森県が市町村国保の運営主体となったことから、データの提供や実績報告を通して連携しています。</li> </ul>	<p>特定健診受診率向上事業等、各個別保健事業の目標達成及び実績の向上を目指し、引き続き取組を推進していきます。</p> <p>特に、指標判定が「B」となった個別保健事業については、事業の見直しと改善策を実施し、目標達成を目指していきます。</p>
プロセス （保健事業の実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なデータを収集し、データに基づいて現状分析したか</li> <li>・スケジュールどおり実施できているか</li> <li>・保健事業の方法等は適切か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の受診結果、レセプトデータ、KDB システムから抽出した統計情報を活用した現状分析を行い、課題抽出を行っています。</li> <li>※保健事業の実施方法については、第3章の個別保健事業の中間評価の項を参照。</li> </ul>	
アウトプット （保健事業の実施量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した保健事業は実施できているか</li> <li>・保健事業の実施結果はどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康状態不明者受診勧奨事業」については、現時点では未実施です。</li> <li>・生活習慣病予防のための早期介入保健指導として、令和元年度から新たに「脳ドック検査費助成事業」と「禁煙外来治療費助成事業」を開始しました。</li> <li>※保健事業の実施状況については、第3章の個別保健事業の中間評価の項を参照。</li> </ul>	
アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した目標に達することはできたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業の評価指標に対する指標判定については、B判定が多くなっています。</li> <li>・計画の短期目標と中長期的目標の達成状況については、※第4章の第2期データヘルス計画の目標達成状況の項を参照。</li> </ul>	

# 参考資料

1. つがる市国民健康保険被保険者数の推移
2. 医療費データの分析
3. 健診データの分析
4. 介護（レセプト）の分析
5. 国・県・同規模平均と比較したつがる市の位置

## 1. つがる市の国民健康保険被保険者の推移

被保険者数及び加入率は年々減少傾向にあります。

<表1 被保険者数の推移>

年度	人口 (人)	国保世帯数	被保険者数			
			一般(人)	退職(人)	計(人)	加入率
平成27年度	34,101	6,831	13,170	352	13,522	39.7%
平成28年度	33,468	6,518	12,421	252	12,673	37.9%
平成29年度	32,837	6,134	11,541	128	11,669	35.5%
平成30年度	32,244	5,825	10,761	56	10,817	33.5%
令和元年度	31,723	5,654	10,220	12	10,232	32.3%

出典：つがる市国民健康保険事業報告書（以下事業年報と省略）A表

※人口は3月末現在の数値

※国保世帯数、被保険者数は各年度の3～2月の平均値

## 2. 医療費データの分析

### (1) 医療費総額等の推移

つがる市の総医療費は、年々減少していますが、1人当たりの医療費は、令和30年度の減少しましたが、令和元年度に再度増加しています。

<表2 医療費総額等の推移>

年度	総医療費(費用額)	1世帯当たりの医療費	1人当たりの医療費	前年度比
平成27年度	3,920,048,018円	573,862円	289,901円	103.5%
平成28年度	3,820,171,629円	586,096円	301,442円	104.0%
平成29年度	3,594,310,688円	585,965円	308,022円	102.2%
平成30年度	3,300,645,050円	566,634円	305,135円	99.1%
令和元年度	3,222,937,651円	570,028円	314,986円	103.2%

出典：つがる市国民健康保険事業報告書（以下事業年報と省略）C表、F表

### (2) 外来及び入院の医療費の割合等

受診率は、外来・入院とも、県・国より低くなっています。

<表3 外来及び入院の医療費の割合等>

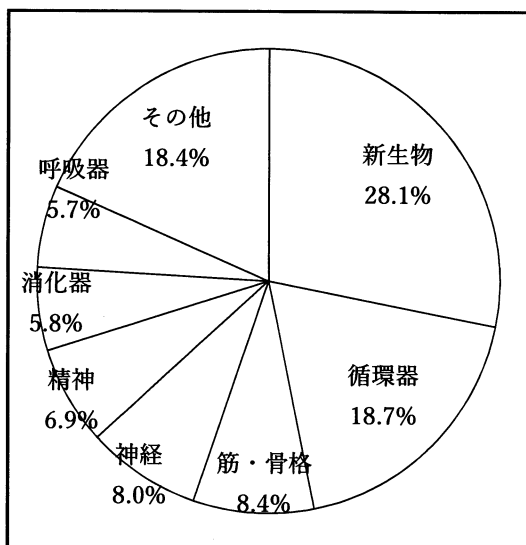
		つがる市	県	国
外来	受診率	651.457	730.894	682.325
	医療費の割合	63.6%	60.7%	59.6%
	件数の割合	97.8%	97.4%	97.3%
入院	入院率	14.952	19.252	18.702
	医療費の割合	36.4%	39.3%	40.4%
	件数の割合	2.2%	2.6%	2.7%

出典：KDB 令和元年度 地域の全体像の把握

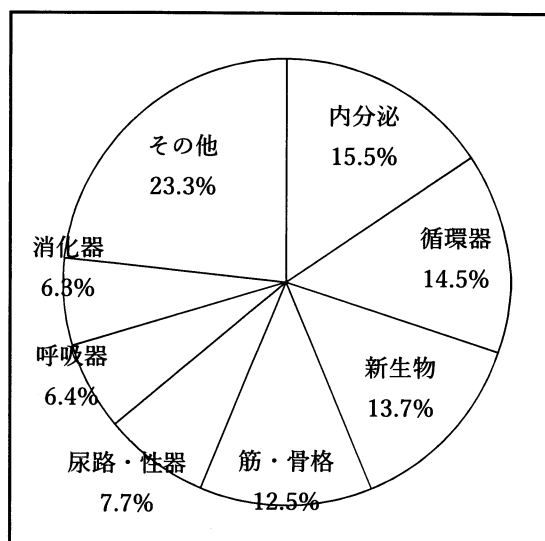
(3) 疾病分類別医療費の割合（大分類）

総医療費における疾病分類別医療費（大分類）の割合をみると、入院は、「新生物」「循環器」「精神」が、外来は、「内分泌」「循環器」「新生物」が上位となっています。

<図1 大分類別医療費（入院）>



<図2 大分類別医療費（外来）>



出典：KDB 令和元年度 医療費分析（2）大・中・細小分類

※疾病分類とは、統計分類である「疾病、障害及び死因統計分類提要（ICD-10（2003年版）準拠）を使い、分類コードによって「大分類」「中分類」「小分類」等に整理したものです。

<主な分類に含まれる疾病名例>

- ・新生物→悪性新生物（胃がん、大腸がん等）、白血病、良性新生物（子宮筋腫等）等
- ・内分泌系→糖尿病、高脂血症、脂質異常症 等
- ・循環器系→高血圧、狭心症、脳内出血、脳梗塞、動脈硬化 等

(4) 生活習慣病等受診状況（レセプト1件当たりの外来・入院単価）

疾病別のレセプト1件当たりの医療費は、入院・外来共に、腎不全が最も高額になっています。

また、県内順位を見ると、入院では、腎不全と精神が上位となり、外来では脂質異常と歯肉炎・歯周病の順位が上がっています。

<表4 レセプト1件当たりの外来・入院単価（令和元年度内の平均）>

疾病	年度	入院（1件当たりの費用）	県内順位	外来（1件当たり費用）	県内順位
糖尿病	平成28	671,280円	4	36,976円	18
	令和元	605,973円	17	35,231円	27
高血圧症	平成28	647,905円	7	30,134円	15
	令和元	632,124円	14	28,624円	23
脂質異常症	平成28	613,855円	9	26,172円	18
	令和元	571,334円	26	26,635円	15
脳血管疾患	平成28	672,111円	17	35,705円	10
	令和元	624,683円	29	28,895円	30
心疾患	平成28	526,945円	35	43,213円	14
	令和元	625,319円	24	37,695円	21
腎不全	平成28	606,263円	32	203,186円	6
	令和元	844,426円	7	116,437円	28
新生物	平成28	654,500円	13	61,295円	14
	令和元	647,744円	22	58,923円	33
精神	平成28	483,618円	19	32,336円	9
	令和元	542,403円	10	29,204円	17
歯肉炎・ 歯周病	平成28	65,500円	23	16,446円	19
	令和元	233,015円	22	15,518円	17

※総保険者41

出典：KDB 令和元年度（累計）健診医療介護データから見る地域の健康課題①疾病統計

(5) 医療レセプトの分析

①高額になる疾患（80万円以上レセプト）

1か月に80万円以上の高額になる疾患のうち最も多いのは「がん」で107人（39.2%）です。疾患に要する費用額は、「がん」が最も多く、1人当たり費用額も最も多くなっています。

<表5 高額になる疾患の分析（80万円以上のレセプト）>

対象レセプト：R元年度	全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	がん	その他
人数	273人	20人	7人	107人	154人
		7.3%	2.6%	39.2%	56.4%
件数	430件	34件	9件	187件	200件
		7.9%	2.1%	43.5%	46.5%
費用額	5億8310万円	4337万円	1555万円	2億4497万円	2億7921万円
		7.4%	2.7%	42.0%	42.0%
1人当たり医療費	213.6万円	216.9万円	222.1万円	228.9万円	181.3万円

出典：KDB 令和元年度（累計）厚生労働省様式1-1 最大医療資源傷病名（主病）で計上

※疾患別（脳・心・がん・その他）の人数は同一人物でも主病が異なる場合があるため、合計人数とは限らない。

②長期入院（6か月以上の入院）

6か月以上の長期入院は32人で、精神疾患が最も多く、13人（40.6%）と全体の約半数を占めています。

<表6 長期入院（6か月以上の入院）となる疾患の分析>

対象レセプト：H27年度	全体	精神疾患	脳血管疾患	虚血性心疾患
人数	32人	13人	5人	5人
		40.6%	15.6%	15.6%
件数	261件	101件	41件	26件
		38.7%	15.7%	10.0%
費用額	1億3844万円	3751万円	2379万円	1613万円
		27.1%	11.7%	11.7%

出典：KDB 令和元年度（累計）厚生労働省様式2-1 最大医療費資源傷病名（主病）で計上

脳血管疾患・虚血性心疾患は併発症の欄から抽出（重複あり）

④ 人工透析患者

長期療養を要する人工透析患者の1人当たりの年間費用額は527.8万円と高額です。

糖尿病性腎症が10人(52.6%)と約半数を占めています。

治療状況を見ると、虚血性心疾患を発症している者が6人(31.6%)います。基礎疾患を見てみると、高血圧は18人(94.7%)とほぼ全員治療中で、糖尿病は10人(52.6%)が治療中です。

人工透析治療者は、40歳代の若い年代から多くなっています。

<表7 人工透析のレセプト分析>

	全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症
人数 <sup>1)</sup>	19人	0人	6人	10人
		0%	31.6%	52.6%
件数 <sup>2)</sup>	223件	4件	56件	121件
		1.8%	25.1%	54.3%
費用額 <sup>3)</sup>	1億0028万円	99万円	2412万円	5192万円
		1.0%	24.1%	51.8%
1人当り年間費用額	527.8万円	—	—	—

出典：KDB 令和元年度（累計）

1) 2) 対象レセプト：令和元年度累計、厚生労働省様式2-2

3) 対象レセプト：令和元年7月診療分、厚生労働省様式3-7

<表8 人工透析の治療状況>

	人工透析患者数	大血管障害		血管を痛める因子			
		脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病	高血圧	高尿酸血症	脂質異常症
30歳代	0	0	0	0	0	0	0
40歳代	5人	0	2人	2人	5人	4人	2人
50歳代	6人	0	1人	4人	6人	2人	1人
60～64歳	7人	0	3人	4人	6人	5人	2人
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	1人	0	1人	0	1人	1人	0
合計	19人	0	6人 (31.6%)	10人 (52.6%)	16人 (94.7%)	12人 (63.2%)	5人 (26.3%)

出典：KDB 厚生労働省様式（様式3-7）人工透析のレセプト分析（令和元年7月診療分）



(6) 生活習慣病の治療状況

生活習慣病治療者は3,534人で、被保険者の約1/3を占めています。

代表的な生活習慣病の治療割合をみると、高血圧症は全体の55.3%と多くを占めています。

また、医療費負担の大きな生活習慣病である脳血管疾患が7.0%、虚血性心疾患が7.1%を占め、その基礎疾患を見ると、糖尿病、高血圧症、脂質異常症を治療している割合が高く、特に高血圧症の治療者は約8割となっています。

<表9 生活習慣病の治療者数・構成割合>

全体		脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症
3,534人		246人	250人	52人
		7.0%	7.1%	1.5%
の 重 なり 基 礎 疾 患	高血圧	192人 78.0%	206人 82.4%	43人 82.7%
	糖尿病	91人 37.0%	93人 37.2%	52人 100%
	脂質 異常症	132人 53.7%	165人 66.0%	33人 63.5%
高血圧症		糖尿病	脂質異常症	高尿酸血症
1,956人		1,033人	1,483人	384
55.3%		29.2%	42.2%	10.9%

出典：KDB 厚生労働省様式（様式3-1）生活習慣病全体のレセプト分析  
（令和元年7月診療分）

### 3. 健診データの分析

#### (1) 特定健診有所見者状況(男女別・年代別)

健診結果の項目別で見ると、令和元年度では、男性・女性ともにLDLコレステロールの有所見割合が最も高くなっています。経年変化をみると、HbA1cの有所見割合は減少していますが、尿酸や拡張期血圧の有所見割合が増加しています。

<表10 特定健診有所見者状況の推移>

年度	性別	年齢	BMI		腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアチニン	
			25以上		85以上		150以上		31以上		40未満		100以上		5.6以上		7.0以上		130以上		85以上		120以上		1.3以上	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	保険者	合計	573	35.9	753	47.2	374	23.5	434	27.2	92	5.8	671	42.1	768	48.2	69	4.3	692	43.4	379	23.8	754	47.3	0	0.0
		40-64	315	40.3	394	50.4	203	26.0	255	32.7	43	5.5	276	35.3	328	42.0	49	6.3	303	38.8	240	30.7	393	50.3	0	0.0
		65-74	258	31.7	359	44.2	171	21.0	179	22.0	49	6.0	395	48.6	440	54.1	20	2.5	389	47.8	139	17.1	361	44.4	0	0.0
R元	保険者	合計	616	40.0	847	55.0	400	26.0	426	27.6	83	5.4	668	43.3	578	37.5	217	14.1	658	42.7	482	31.3	735	47.7	20	1.3
		40-64	291	45.0	377	58.3	204	31.5	228	35.2	36	5.6	227	35.1	195	30.1	123	19.0	212	32.8	229	35.4	334	51.6	4	0.6
		65-74	325	36.4	470	52.6	196	21.9	198	22.1	47	5.3	441	49.3	383	42.8	94	10.5	446	49.9	253	28.3	401	44.9	16	1.8

年度	性別	年齢	BMI		腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアチニン	
			25以上		90以上		150以上		31以上		40未満		100以上		5.6以上		7.0以上		130以上		85以上		120以上		1.3以上	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	保険者	合計	510	26.7	339	17.8	226	11.8	229	12.0	24	1.3	533	27.9	872	45.7	10	0.5	670	35.1	246	12.9	1,068	56.0	0	0.0
		40-64	222	25.8	151	17.6	108	12.6	111	12.9	6	0.7	159	18.5	310	36.1	7	0.8	237	27.6	128	14.9	497	57.9	0	0.0
		65-74	288	27.5	188	17.9	118	11.2	118	11.2	18	1.7	374	35.7	562	53.6	3	0.3	433	41.3	118	11.2	571	54.4	0	0.0
R元	保険者	合計	492	27.0	332	18.2	203	11.2	205	11.3	9	0.5	518	28.5	634	34.8	42	2.3	720	39.6	341	18.7	959	52.7	4	0.2
		40-64	186	28.1	118	17.8	68	10.3	88	13.3	2	0.3	129	19.5	173	26.1	16	2.4	208	31.4	132	19.9	357	53.9	1	0.2
		65-74	306	26.4	214	18.5	135	11.7	117	10.1	7	0.6	389	33.6	461	39.8	26	2.2	512	44.2	209	18.0	602	52.0	3	0.3

出典:KDB 厚生労働省様式5-2 特定健診有所見者状況(男女別・年代別)

#### (2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の把握

メタボリックシンドローム該当者・予備群該当者の経年変化をみると、ともに増加しています。

<表11 メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移>

年度	性別	年齢	健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			H28	保険者	合計	1,564	37.4	100	6.3%	271	7.0%	21	1.3%	190	11.9%	60	3.8%	382	24.0%	90	5.6%	11	0.7%	175
40-64	781	31.8			70	9.0%	156	20.0%	11	1.4%	109	14.0%	36	4.6%	168	21.5%	33	4.2%	8	1.0%	84	10.8%	43	5.5%
65-74	813	45.0			30	3.7%	115	14.1%	10	1.2%	81	10.0%	24	3.0%	214	26.3%	57	7.0%	3	0.4%	91	11.2%	63	7.7%
R元	保険者	合計	1,541	42.4	88	5.7%	307	9.9%	22	1.4%	224	14.5%	61	4.0%	452	29.3%	111	7.2%	13	0.8%	214	13.9%	114	7.4%
		40-64	647	35.1	62	9.6%	147	22.7%	13	2.0%	97	15.0%	37	5.7%	168	26.0%	22	3.4%	6	0.9%	95	14.7%	45	7.0%
		65-74	894	49.9	26	2.9%	160	17.9%	9	1.0%	127	14.2%	24	2.7%	284	31.8%	89	10.0%	7	0.8%	119	13.3%	69	7.7%

年度	性別	年齢	健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			H28	保険者	合計	1,908	44.7	56	2.9%	132	6.9%	5	0.3%	105	5.5%	22	1.2%	151	7.9%	33	1.7%	4	0.2%	83
40-64	859	38.6			34	4.0%	59	6.9%	3	0.3%	44	5.1%	12	1.4%	58	6.8%	12	1.4%	2	0.2%	33	3.8%	11	1.3%
65-74	1,049	51.4			22	2.1%	73	7.0%	2	0.2%	61	5.8%	10	1.0%	93	8.9%	21	2.0%	2	0.2%	50	4.8%	20	1.9%
R元	保険者	合計	1,820	49.6	42	2.3%	134	7.4%	5	0.3%	103	5.7%	26	1.4%	156	8.6%	33	1.8%	4	0.2%	86	4.7%	33	1.8%
		40-64	662	40.8	22	3.3%	50	7.6%	0	0.0%	40	6.0%	10	1.5%	46	6.9%	9	1.4%	2	0.3%	26	3.9%	9	1.4%
		65-74	1,158	56.5	20	1.7%	84	7.3%	5	0.4%	63	5.4%	16	1.4%	110	9.5%	24	2.1%	2	0.2%	60	5.2%	24	2.1%

出典:KDB 厚生労働省様式5-3 メタボリックシンドローム該当者・予備群

#### 4. 介護（レセプト）の分析

介護認定者におけるレセプト分析では、有病状況を見ると、血管疾患によるものが94.2%であり1号保険者・2号保険者ともに、筋・骨格疾患を上回っています。

<表 介護保険受給者区分別介護認定状況と有病状況>

要介護認定状況	受給者区分		2号		1号				合計									
	年齢		40~64歳	65~74歳	75歳以上	計												
★NO.47	被保険者数		11,216人	4,944人	6,563人	11,507人			22,723人									
	認定者数		42人	201人	2,164人	2,365人			2,407人									
	認定率		0.37%	4.1%	33.0%	20.6%			10.6%									
	新規認定者数(*1)		2人	5人	29人	34人			36人									
介護度別人数	要支援1・2		8	19.0%	55	27.4%	447	20.7%	502	21.2%	510	21.2%						
	要介護1・2		17	40.5%	70	34.8%	928	42.9%	998	42.2%	1,015	42.2%						
	要介護3~5		17	40.5%	76	37.8%	789	36.5%	865	36.6%	882	36.6%						
要介護突合状況 ★NO.49	受給者区分		2号		1号				合計									
	年齢		40~64歳		65~74歳		75歳以上		計		合計							
	介護件数(全体)		42		201		2,164		2,365		2,407							
	再)国保・後期		25		119		1,839		1,958		1,983							
	血管疾患 (レセプトの診断名より重複して計上)	循環器疾患	1	脳卒中	17	68.0%	脳卒中	47	39.5%	虚血性心疾患	736	40.0%	虚血性心疾患	759	38.8%	虚血性心疾患	767	38.7%
				虚血性心疾患	8	32.0%	虚血性心疾患	23	19.3%	脳卒中	695	37.8%	脳卒中	742	37.9%	脳卒中	759	38.3%
		3	腎不全	1	4.0%	腎不全	9	7.6%	腎不全	195	10.6%	腎不全	204	10.4%	腎不全	205	10.3%	
			合併症	4	糖尿病合併症	3	12.0%	糖尿病合併症	19	16.0%	糖尿病合併症	135	7.3%	糖尿病合併症	154	7.9%	糖尿病合併症	157
		基礎疾患 (高血圧・糖尿病・脂質異常症)		22	88.0%	基礎疾患	99	83.2%	基礎疾患	1,708	92.9%	基礎疾患	1,807	92.3%	基礎疾患	1,829	92.2%	
		血管疾患合計		23	92.0%	合計	103	86.6%	合計	1,742	94.7%	合計	1,845	94.2%	合計	1,868	94.2%	
		認知症		3	12.0%	認知症	30	25.2%	認知症	892	48.5%	認知症	922	47.1%	認知症	925	46.6%	
		筋・骨格疾患		20	80.0%	筋骨格系	94	79.0%	筋骨格系	1,712	93.1%	筋骨格系	1,806	92.2%	筋骨格系	1,826	92.1%	

\*1)新規認定者についてはNO49\_要介護突合状況の「開始年月日」を参照し、年度累計を計上

出典：KDB 令和2年5月 要介護（支援）者認定状況、要介護者有病状況

5. 国・県・同規模平均と比べてみたつがる市の位置

項目			H28		R元		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
1	① 人口構成	総人口	37,217		33,290		9,235,889		1,297,015		125,640,987		KDB_NO.5 人口の状況 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題
		65歳以上(高齢化率)	11,180	30.0	11,507	34.6	3,036,277	32.9	390,940	30.1	33,465,441	26.6	
		75歳以上	6,266	16.8	6,563	19.7	---	---	199,344	15.4	16,125,763	12.8	
		65~74歳	4,914	13.2	4,944	14.9	---	---	191,596	14.8	17,339,678	13.8	
		40~64歳	12,719	34.2	11,216	33.7	---	---	451,969	34.8	42,295,574	33.7	
	39歳以下	13,318	35.8	10,567	31.7	---	---	454,106	35.0	49,879,972	39.7		
	② 産業構成	第1次産業	31.0		30.3		10.9		12.4		4.0		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題
		第2次産業	19.0		18.6		27.1		20.4		25.0		
		第3次産業	50.1		51.2		62.0		67.2		71.0		
	③ 平均寿命	男性	77.8		78.6		80.4		78.7		80.8		KDB_NO.1 地域全体像の把握
女性		86.3		86.6		86.9		86.0		87.0			
④ 平均自立期間 (要介護2以上)	男性 ※保険者欄は二次医療圏データ	77.7		77.0		79.2		77.5		79.6		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	女性 ※保険者欄は二次医療圏データ	83.7		83.5		84.0		82.9		84.0			
2	① 死亡の状況	標準化死亡率(SMR)	115.0		115.0		104.7		119.8		100		KDB_NO.1 地域全体像の把握
		男性	115.0		115.0		104.7		119.8		100		
		女性	98.5		98.5		101.4		109.6		100		
		がん	148	51.9	156	51.8	33,789	46.6	4,986	48.9	373,187	49.9	
		心臓病	71	24.9	66	21.9	21,109	29.1	2,621	25.7	204,720	27.4	
		脳疾患	46	16.1	47	15.6	11,869	16.4	1,700	16.7	109,818	14.7	
		糖尿病	2	0.7	9	3.0	1,336	1.8	242	2.4	13,964	1.9	
	腎不全	11	3.9	15	5.0	2,755	3.8	376	3.7	25,127	3.4		
	自殺	7	2.5	8	2.7	1,673	2.3	265	2.6	20,385	2.7		
	② 早世予防から みた死亡 (65歳未満)	合計											厚労省HP 人口動態調査
男性													
3	① 介護保険	1号認定者数(認定率)	2,339	20.7	2,365	20.5	595,070	19.5	75,306	19.3	6,467,463	19.6	KDB_NO.1 地域全体像の把握
		新規認定者	34	0.3	34	0.3	10,714	0.3	941	0.3	113,806	0.3	
		2号認定者	56	0.4	42	0.4	10,975	0.4	2,052	0.5	152,813	0.4	
	② 有病状況	糖尿病	335	14.3	338	13.9	139,887	23.1	16,932	21.8	1,537,914	23.0	
		高血圧症	942	39.6	943	39.1	333,418	54.9	39,497	50.9	3,472,146	51.7	
		脂質異常症	453	19.2	453	18.6	181,020	29.7	20,701	26.5	2,036,238	30.1	
		心臓病	1,068	44.7	1,057	43.9	378,090	62.4	44,066	56.8	3,939,115	58.7	
		脳疾患	423	18.3	356	15.7	155,845	26.0	18,702	24.5	1,587,755	24.0	
		がん	185	7.9	178	7.6	67,192	11.0	7,027	9.0	739,425	11.0	
		筋・骨格	941	39.7	921	38.6	330,145	54.6	35,288	45.8	3,448,596	51.6	
精神		690	28.4	682	27.4	238,440	39.3	28,626	36.7	2,437,051	36.4		
③ 介護給付費	1件当たり給付費(全体)	79,227		91,174		71,699		71,639		61,336		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	居宅サービス	41,295		48,259		44,529		51,126		41,769			
	施設サービス	311,324		312,514		289,602		296,746		293,933			
④ 医療費等	要介護認定別 医療費(40歳以上)	6,505		5,854		8,811		7,343		8,385		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	認定あり 認定なし	3,689		3,714		4,188		3,734		3,943			
4	① 国保の状況	被保険者数	12,245		10,118		2,153,815		299,198		29,893,491		KDB_NO.1 地域全体像の把握 KDB_NO.5 被保険者の状況
		65~74歳	3,913	32.0	3,961	39.1	---	---	134,661	45.0	12,122,844	40.6	
		40~64歳	5,060	41.3	3,828	37.8	---	---	103,070	34.4	9,745,338	32.6	
		39歳以下	3,272	26.7	2,329	23.0	---	---	61,467	20.5	8,025,309	26.8	
	加入率	32.9		30.4		23.3		23.0		21.6			
	② 医療の概況 (人口千対)	病院数	1	0.1	1	0.1	873	0.4	94	0.3	8,411	0.3	
		診療所数	12	1.0	12	1.2	6,956	3.2	881	3.0	101,457	3.7	
		病床数	265	21.6	265	26.2	140,524	65.2	17,252	57.9	1,554,824	57.4	
		医師数	13	1.1	12	1.2	18,294	8.5	2,702	9.1	319,466	11.8	
		外来患者数	611.0		651.5		719.0		732.2		700.5		
入院患者数		14.1		14.9		24.8		19.3		19.7			
③ 医療費の 状況	一人当たり医療費(1ヶ月平均)	21,982		23,174		30,311		27,454		27,475		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	受診率	625.121		666.358		743.736		751.527		720.253			
	外来	費用の割合	63.7		63.6		55.9		60.7		59.2		
		件数の割合	97.7		97.8		96.7		97.4		97.3		
	入院	費用の割合	36.3		36.4		44.1		39.3		40.8		
		件数の割合	2.3		2.2		3.3		2.6		2.7		
	1件あたり在院日数	14.1日		14.2日		17.1日		15.7日		16.0日			
④ 医療費分析 生活習慣病に 占める割合 最大医療資源優先病 名(調剤含む)	がん	603,954,480 31.6		537,261,480 33.7		28.7		32.3		29.9		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題	
	慢性腎不全(透析あり)	154,993,850 8.1		83,101,520 5.2		7.6		6.3		8.5			
	糖尿病	209,128,430 10.9		198,260,350 12.4		10.6		11.8		10.2			
	高血圧症	192,521,840 10.1		141,443,360 8.9		7.0		8.0		6.6			
	精神	205,484,970 10.7		150,776,620 9.5		17.1		13.1		15.3			
	筋・骨格	331,428,050 17.3		310,663,680 19.5		16.6		16.2		16.4			

項目	H28		R元		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)					
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合						
4	⑤	費用額 (1件あたり) 県内順位 順位総数41	入院	糖尿病	671,280	4位 (16)	605,973	17位 (17)				KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域				
				高血圧	647,905	7位 (15)	632,124	14位 (15)								
				脂質異常症	613,855	9位 (18)	571,334	26位 (18)								
				脳血管疾患	672,111	17位 (18)	624,683	29位 (18)								
				心疾患	526,945	35位 (11)	625,319	24位 (13)								
				腎不全	606,263	32位 (16)	844,426	7位 (17)								
				精神	483,618	19位 (24)	542,403	10位 (24)								
				悪性新生物	654,500	13位 (12)	647,744	22位 (11)								
				外来	糖尿病	36,976	18位	35,231	27位							
					高血圧	30,134	15位	28,624	23位							
					脂質異常症	26,172	18位	26,635	15位							
					脳血管疾患	35,705	10位	28,895	30位							
					心疾患	43,213	14位	37,695	21位							
					腎不全	203,186	6位	116,437	28位							
精神	32,336	9位	29,204		17位											
悪性新生物	61,295	14位	58,923	33位												
⑥	健診有無別 一人当たり 点数	健診対象者 一人当たり	健診受診者	2,889		3,323		2,722		2,537		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域				
			健診未受診者	11,298		10,964		13,635		13,490						
		生活習慣病対象者 一人当たり	健診受診者	8,939		10,013		7,400		6,755						
			健診未受診者	34,955		33,038		37,065		35,925						
⑦	健診・レセ 突合	受診勧奨者	1,838	52.5	1,830	54.4	378,220	57.6	47,666	56.1	4,037,518	57.5	KDB_NO.1 地域全体像の把握			
		医療機関受診率	1,659	47.4	1,698	50.5	346,259	52.8	44,340	52.2	3,742,333	53.3				
		医療機関非受診率	179	5.1	132	3.9	31,961	4.9	3,326	3.9	295,185	4.2				
5	①-⑱	特定健診の 状況 県内順位 順位総数41	メタボ	健診受診者	3,502		3,361		656,308		84,939		7,027,440		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握	
				受診率	41.1		46.0		41.5		37.9		37.5			
				特定保健指導終了者(実施率)	193	49.4	137	37.4	32654	41.8	3,664	42.6	214,422	26.3		
				非肥満高血糖	309	8.8	292	8.7	69,555	10.6	8,817	10.4	668,786	9.5		
				該当者	男性	533	15.2	608	18.1	129,515	19.7	16,189	19.1	1,350,831		19.2
					女性	382	24.0	452	29.3	88,803	30.3	10,974	29.6	922,947		30.7
					予備群	403	11.5	441	13.1	72,343	11.0	9,357	11.0	777,605		11.1
					女性	271	17.0	307	19.9	49,877	17.0	6,164	16.6	531,619		17.7
				BMI	総数	1,092	31.2	1,179	35.1	223,676	34.1	28,187	33.2	2,374,034		33.8
					男性	753	47.2	847	55.0	153,189	52.2	18,799	50.7	1,616,190		53.8
					女性	339	17.8	332	18.2	70,487	19.4	9,388	19.6	757,844		18.8
					女性	132	6.9	134	7.4	22,466	6.2	3,193	6.7	245,986		6.1
				メタボ該当・予備群 レベル	総数	1,092	31.2	1,179	35.1	223,676	34.1	28,187	33.2	2,374,034		33.8
					男性	753	47.2	847	55.0	153,189	52.2	18,799	50.7	1,616,190		53.8
					女性	339	17.8	332	18.2	70,487	19.4	9,388	19.6	757,844		18.8
					総数	298	8.5	261	7.8	36,846	5.6	6,378	7.5	350,564		5.0
					男性	66	4.1	39	2.5	5,827	2.0	1,081	2.9	52,166		1.7
					女性	232	12.2	222	12.2	31,019	8.5	5,297	11.1	298,398		7.4
					血糖のみ	26	0.7	27	0.8	4,742	0.7	589	0.7	48,307		0.7
血圧のみ	295	8.4	327		9.7	51,151	7.8	6,847	8.1	541,072	7.7					
脂質のみ	82	2.3	87		2.6	16,450	2.5	1,921	2.3	188,226	2.7					
血糖・血圧	123	3.5	144	4.3	21,727	3.3	3,295	3.9	207,752	3.0						
血糖・脂質	15	0.4	17	0.5	7,050	1.1	648	0.8	73,729	1.0						
血圧・脂質	258	7.4	300	8.9	58,526	8.9	7,297	8.6	636,795	9.1						
血糖・血圧・脂質	137	3.9	147	4.4	42,212	6.4	4,949	5.8	432,555	6.2						
6	①-⑭	生活習慣の 状況	服薬	高血圧	1,394	39.8	1,399	41.6	243,992	37.2	35,800	42.2	2,497,577	35.5	KDB_NO.1 地域全体像の把握	
				糖尿病	275	7.9	313	9.3	61,355	9.4	8,777	10.3	599,817	8.5		
				脂質異常症	716	20.4	743	22.1	172,196	26.2	22,892	27.0	1,868,363	26.6		
			既往歴	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	68	1.9	73	2.2	21,328	3.4	2,577	3.1	228,911	3.4		
				心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	90	2.6	93	2.8	38,068	6.0	4,295	5.2	394,764	5.8		
				腎不全	27	0.8	22	0.7	5,417	0.9	770	0.9	52,100	0.8		
				貧血	33	0.9	44	1.3	62,131	9.8	3,811	5.1	721,418	10.7		
			喫煙	593	16.9	551	16.4	85,969	13.1	12,320	14.5	913,599	13.0			
			週3回以上朝食を抜く	297	8.5	246	7.4	41,836	7.1	5,795	7.8	537,779	8.6			
			週3回以上食後間食(～H29)	545	15.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0			
			週3回以上就寝前夕食(H30～)	638	18.2	671	20.1	91,466	15.4	14,632	19.7	973,521	15.6			
			週3回以上就寝前夕食	638	18.2	671	20.1	91,466	15.4	14,632	19.7	973,521	15.6			
			食べる速度が速い	1,616	46.1	997	29.8	163,977	27.7	21,583	29.1	1,684,744	27.2			
			20歳時体重から10kg以上増加	1,294	37.0	1,313	39.3	191,787	33.8	26,286	35.5	2,101,248	33.9			
1回30分以上運動習慣なし	2,656	75.8	2,498	74.7	374,541	62.8	48,641	65.4	3,672,239	58.8						
1日1時間以上運動なし	1,936	55.3	1,848	55.3	281,355	47.2	37,070	50.0	2,943,745	47.1						
睡眠不足	819	23.4	767	22.9	150,299	25.3	16,832	22.7	1,557,958	25.1						
毎日飲酒	1,043	29.8	989	29.6	159,291	25.3	21,750	26.1	1,642,581	24.8						
時々飲酒	603	17.2	560	16.8	130,761	20.7	18,291	21.9	1,492,461	22.5						
一日飲酒量	1合未満	1,973	56.9	1,925	58.1	268,602	63.8	39,452	57.8	3,138,726	65.6					
	1～2合	792	22.9	712	21.5	102,185	24.3	16,522	24.2	1,105,507	23.1					
	2～3合	361	10.4	333	10.0	39,306	9.3	7,424	10.9	422,683	8.8					
	3合以上	339	9.8	345	10.4	10,739	2.6	4,866	7.1	120,925	2.5					